

第8回下水道グローバルセンター審議会開催概要(平成29年3月14日)

下水道グローバルセンター(GCUS)の事務局では、GCUS活動に対するご意見やご助言をいただくことを目的に、学識経験者やジャーナリスト、並びに自治体・民間企業等の代表者を委員とする「審議会」を年1回開催しており、本年度は3月14日に第8回下水道グローバルセンター(GCUS)審議会を公益社団法人日本下水道協会5階大会議室において開催しました。

今回は、楠田座長(九州大学東アジア環境研究機構特別顧問・名誉教授)ほか20名の審議会委員(代理出席含む)、委員随行者、GCUS構成団体、プレス等の参加を得て開催されました。

議事では、始めに下水道の国際展開に関する最近の動向及び戦略・実施方針について報告がありました。

次に、活動報告および今後の活動予定として、平成27年度審議会における主なご意見と対応状況、人材育成・情報発信・収集、情報収集・発信・マッチング、国際標準化(ISO)の取組み等について報告がありました。

最後に、今後の活動に向けた意見交換においては、委員からは、「日本の技術の海外展開にあたってグローバルに活躍できる人材の育成が必要。安価で、メンテナンスが容易な技術の開発の必要性。上水や廃棄物など関連分野との連携が有益。GCUSにおいて、自治体、民間等の情報を共有し、技術を検討すべき。」等のご意見等も頂きました。

GCUSでは、審議会でのご意見を踏まえて、今後も世界の水・衛生問題の解決と我が国民間企業の水ビジネス国際展開の支援を進めて参ります。

引き続き、会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

